

下殿妃様

【東京發特報】
東京發特報
登記御身を江南

お手づからなる 白衣勇士御犒ひ

畏し朝香宮邸のお招き

五十一の石段山を 自動車で昇降 現代式曲垣平九郎

善後策を講じてゐる。然し
座敷に投げられた談話
リヤ札は既に何者かの手で
拾ひ上げられ、商工銀行か
多喜男は其後逃亡してま
を受取つてゐるので、辯護
士からは警察へ調査方を願
ひ出したが、法律上興味ある
問題として市民の話題とな
つてゐる。

殺人稻垣搜索中
【モントアルト製】自動車
運転手アントニオ、タラカ
なる者を殺しに日本人稻垣
大死だし、皇軍に向つては
到底ハが立たず、去りて
後に退けば督戰軍と云ふ無

那兵仲々易いことはない
らしい、ロクに食ふ物も充
分當てがはす戰死したつて
は死體を發見したのはジョ
前狼後虎とは正に此の事故
犬死だし、皇軍に向つては
到底ハが立たず、去りて
後穴に埋めたものである
だ。

る冒險! 何んたるムチャ
な事をするのか』

問

もなく自動車は一

歩一步と降り出した『コト

ン』と降りて來る姿は、

しかしに天下の偉觀であつ

た』と福岡の新聞は筆をぞ

く所属病院に歸つた

に現はれる自動車、山上から

に行進をはじめた、前輪

が一番下の石段にのしか

つたと見るや、そのま

二段、三段と前輪が噛

んで行く、やがて後輪も

石段に乗つた頃、自動車

は別段速度を落さでもな

く、まるで平地を歩むよ

うに樂々とした姿で、十

二段十段と登つて行つた

車は、始めて我に還つて拍手を

するやう、萬歳を叫ぶや

ったとき、前輪が噛

みたと見るや、そのま

で乗つて、後輪が噛

んで行く、やがて後輪も

石段に乗つた頃、自動車

は別段速度を落さでもな

く、まるで平地を歩むよ

うに樂々とした姿で、十

二段十段と登つて行つた

車は、始めて我に還つて拍手を

するやう、萬歳を叫ぶや

ったとき、前輪が噛

みたと見るや、そのま

で乗つて、後輪が噛

んで行く、やがて後輪も

石段に乗つた頃、自動車

は別段速度を落さでもな

く、まるで平地を歩むよ

うに樂々とした姿で、十

二段十段と登つて行つた

車は、始めて我に還つて拍手を

するやう、萬歳を叫ぶや

ったとき、前輪が噛

みたと見るや、そのま

で乗つて、後輪が噛

んで行く、やがて後輪も

石段に乗つた頃、自動車

は別段速度を落さでもな

く、まるで平地を歩むよ

うに樂々とした姿で、十

二段十段と登つて行つた

車は、始めて我に還つて拍手を

するやう、萬歳を叫ぶや

ったとき、前輪が噛

みたと見るや、そのま

で乗つて、後輪が噛

んで行く、やがて後輪も

石段に乗つた頃、自動車

は別段速度を落さでもな

く、まるで平地を歩むよ

うに樂々とした姿で、十

二段十段と登つて行つた

車は、始めて我に還つて拍手を

するやう、萬歳を叫ぶや

ったとき、前輪が噛

みたと見るや、そのま

で乗つて、後輪が噛

んで行く、やがて後輪も

石段に乗つた頃、自動車

は別段速度を落さでもな

く、まるで平地を歩むよ

うに樂々とした姿で、十

二段十段と登つて行つた

車は、始めて我に還つて拍手を

するやう、萬歳を叫ぶや

ったとき、前輪が噛

みたと見るや、そのま

で乗つて、後輪が噛

んで行く、やがて後輪も

石段に乗つた頃、自動車

は別段速度を落さでもな

く、まるで平地を歩むよ

うに樂々とした姿で、十

二段十段と登つて行つた

車は、始めて我に還つて拍手を

するやう、萬歳を叫ぶや

ったとき、前輪が噛

みたと見るや、そのま

で乗つて、後輪が噛

んで行く、やがて後輪も

石段に乗つた頃、自動車

は別段速度を落さでもな

く、まるで平地を歩むよ

うに樂々とした姿で、十

二段十段と登つて行つた

車は、始めて我に還つて拍手を

するやう、萬歳を叫ぶや

ったとき、前輪が噛

みたと見るや、そのま

で乗つて、後輪が噛

んで行く、やがて後輪も

石段に乗つた頃、自動車

は別段速度を落さでもな

く、まるで平地を歩むよ

うに樂々とした姿で、十

二段十段と登つて行つた

車は、始めて我に還つて拍手を

するやう、萬歳を叫ぶや

ったとき、前輪が噛

みたと見るや、そのま

で乗つて、後輪が噛

んで行く、やがて後輪も

石段に乗つた頃、自動車

は別段速度を落さでもな

く、まるで平地を歩むよ

うに樂々とした姿で、十

二段十段と登つて行つた

車は、始めて我に還つて拍手を

するやう、萬歳を叫ぶや

ったとき、前輪が噛

みたと見るや、そのま

で乗つて、後輪が噛

んで行く、やがて後輪も

石段に乗つた頃、自動車

は別段速度を落さでもな

く、まるで平地を歩むよ

うに樂々とした姿で、十

二段十段と登つて行つた

車は、始めて我に還つて拍手を

するやう、萬歳を叫ぶや

ったとき、前輪が噛

みたと見るや、そのま

で乗つて、後輪が噛

んで行く、やがて後輪も

石段に乗つた頃、自動車

は別段速度を落さでもな

く、まるで平地を歩むよ

うに樂々とした姿で、十

二段十段と登つて行つた

車は、始めて我に還つて拍手を

するやう、萬歳を叫ぶや

ったとき、前輪が噛

みたと見るや、そのま

で乗つて、後輪が噛

んで行く、やがて後輪も

石段に乗つた頃、自動車

は別段速度を落さでもな

く、まるで平地を歩むよ

うに樂々とした姿で、十

二段十段と登つて行つた

車は、始めて我に還つて拍手を

するやう、萬歳を叫ぶや

ったとき、前輪が噛

みたと見るや、その

